国立障害者リハビリテーションセンター

National Rehabilitation Center for Persons with Disabilities

研究所一般公開 オープンハウス2011



障害のある人が活き活きと生活できる社会のために

2011年12月 9日 🟦



December 9, 2011

10:00 - 16:00



国立障害者リハビリテーションセンター研究所

〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1

展示内容

脳機能系障害研究部

「脳機能障害の科学的支援に向けて」

- ・ブレインーマシン・インターフェイス(BMI) を用いた環境制御システムの開発
- 発達障害の客観的評価・診断

運動機能系障害研究部

「立つ・歩く・座る」動作改善に向けた科学的 アプローチ

- ・立位姿勢と歩行の制御機序の解明
- ・脊髄損傷後の歩行リハビリテーション
- ・脊髄損傷後の再生医療
- ・褥瘡(じょくそう:床ずれ)の予防

障害工学研究部

「先端工学の導入による新しい障害者支援技術研究 と支援機器開発への挑戦」

- ・障害者支援機器 & 評価機器用生体インターフェース の研究開発
- ・認知障害者の日常生活・就労支援機器の開発
- ・障害を持つ人が着たい服を手に入れやすい衣服環境 への取組

義肢装具技術研究部

「義肢装具をさわってみよう!」

- ・筋電義手普及のためのデモ
- ・いろいろな義肢装具の展示
- ・義足に関する研究紹介

高次脳機能障害情報・支援センター

「高次脳機能障害への理解を深めるために」 高次脳機能障害情報・支援センターが10月に発足 しました。高次脳機能障害についての様々な情報 をホームページにて発信するべく準備中です。

感覚機能系障害研究部

「見る・聞く・触る」感覚障害を最先端技術 で科学する

- ・指文字用触手話ロボットの開発 ・吃音の研究
- ・網膜の変性と再生に関する研究

障害福祉研究部

「障害者の自立・社会参加を支援するしくみづくり」

- ・情報機器(電子図書)の活用による情報支援
- ・きょうだい支援 ・盲ろう者に対する支援
- ・ハンセン病問題の社会学的実証研究
- ・利用者ニーズに応じた制度横断的なケア提供体制の構築
- ・義肢・装具等の価格と製作費用

福祉機器開発部

「『人・生活・もの ユーザーの思いを支える』福祉機器の開発と評価」

- ・義肢装具/座位保持装置の試験評価 ・認知症者の福祉機器展示館
- ・障害児者の自動車上での安全・高齢者向けの生活支援ロボット
- ・電動車いすの臨床評価
- ・電動車いすシミュレータ
- ・車いす搭載形うつ熱予防システム ・6点入力式簡易電子メモ装置
- ・トレーニング用バーチャルオフィス
- ・文字保存機能付き透明文字盤システム

発達障害情報・支援センター

「発達障害の理解のために」

発達障害に関する信頼のおける情報を、本人、家族 の方、発達障害を知りたい方、発達障害に関わる方 (支援者)に、わかりやすく提供しています。

(仮称)障害者ライフモデルルームの紹介

誰もが使いやすい福祉機器と部屋環境を考えるために約 12m四方の多目的空間とトイレと風呂を常設した施設を センター内に設置します。多くの方々を対象とした情報 発信・情報交換の場として活用する予定です。

交通案内

●鉄道

西武新宿線「航空公園」または「新所沢」駅より徒歩15分

・航空公園駅、新所沢駅には車イス利用者のためのエレベータが設けられています。

・航空公園駅、新所沢駅 (東口)からセンターま で点字誘導ブロックが敷 かれています。 研究所

・航空公園駅からリフト 付き市バス(ところバス) が運行されています。

●車

関越自動車道所沢IC より約30分



